

《企画研修会②報告》

来年の干支

「巳」の木目込み人形を作ろう

今年度の第二回企画研修会が十二月一日と八日（日曜）の午後、二日間に亘り、市民会館いわつきの集会室で開催されました。今回の干支は「巳」。三作目の木目込み人形作りです。材料は、森田人形店さんをお願いして、「まどか」、「ゆたか」、「あゆみ」の三種を用意していただきました。

参加者数は、会員の家族を含めた二日間の延べ人数で、岩槻班二十八名、浦和班と大宮班と与野班から八名、さらに現職の方一名を合わせて計三十七名となりました。新たな参加者が増えたこと、そして現職の方に参加していただいたことはとても嬉しいことです。



指導者は森田人形店の森田由美子さんとお手伝いの方のお二人。



作業は、まず型紙を切り抜くことから始めました。次に型紙を布に貼り付けます。織り目に注意してテープでとめます。型紙から一センチほど余裕をとって布を切り抜くと部材ができあがり、順に木目込んでいきます。土台に刻まれた溝にボンドをつけ、へらで布を押し込み、はみ出た布をハサミで切り取ります。今年の布は厚地のもので、仕上がりが豪華になる分、作業はなかなか大変でした。特に頭部が難しい。平らで硬い布を曲面に合わせるのは困難を極めました。

あちこちから指導を仰ぐ声があがり、森田さんもお手伝いの方も大忙しでした。二日間で立派な木目込み人形が完成しました。作品を前に集合写真を撮りましたが、皆さん満足感を得られた表情です。苦勞のかけがあり、一年間飾る人形としてふさわしい出来映えとなりました。

（担当幹事 井上修一）



完成した作品を前に記念撮影 12月8日